

# リーベル通信



発行責任者：八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

住所：八女市本村 425-9

電話：身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610

精神しょうがい 0943-22-2630



## 就任のごあいさつ



「心豊かに、共に支えあい、安心して健やかに暮らせる、優しいまちづくり」  
これは、新八女市誕生後に策定した第4次八女市総合計画の基本理念です。

総合計画は、市の最上位計画として市政すべての基本となるもので、新市として生まれ変わった八女市が、10年後のめざすまちの将来像を明らかにし、市民と行政が協働してまちづくりに取り組みながら、新しい時代を切り拓いていくための指針として策定したものです。

この総合計画には、八女市障害者基本計画の「共に生き、共に支えあう地域を目指して」を基本に、しょうがい者福祉の充実に積極的に取り組むとしており、これまで以上に質の高い福祉サービスの充実と新たな事業展開を進めていかなければならないと考えております。

しかしながら、掲げています崇高な理念や目標を実現させるためには、関係機関や関連する団体及びこれらにかかわる事業所と行政が手をたずさえて進めていくことはもとより、市民になお一層の理解を深めてもらうことが最も大切なことであると思っております。

八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」も年ごとに相談に訪れる方が増え、5年目を迎えた今、地域になくてはならない拠点施設であり、総合計画に掲げている目標達成には欠かせない大きな役割を担う重要な施設となっております。

これからも、しょうがい者福祉施策のさらなる充実のために「リーベル」と連携し取り組んで参りますので、どうか、よろしく願いいたします。

八女市市民福祉部長兼福祉事務所長 古賀秀木



## 退職、おめでとうございます。

リーベル開設時より八女市の福祉の発展のために大変ご尽力いただきました、  
八女市市民福祉部長 山崎潔氏が3月末で退職されました。

スポーツ大好き！いつも笑顔で、人の心を和ませてくださる山崎氏。

長い間、お疲れ様でした。今後のご活躍を祈念いたします。





# 協議会、分科会の報告

**八女地区障害者等自立支援協議会**：次回、5月開催予定。

## リーベルネットワーク会議

3月5日(土)に八女市役所 黒木総合支所にて、第14回リーベルネットワーク会議を開催しました。今回は各分科会の開催状況を報告し、とりわけ就労支援分科会では、宮城県栗原市での障害者雇用の実践現場視察見学を報告しました。(通信18号を参照)今回は大川市自立支援協議会の委員(19名)、筑後市の相談支援事業所(1名)が会議を視察に来られました。今度は、分科会の見学を希望されています。八女地区での取り組み、顔が見えるネットワーク作りが高く評価されました。5月14日(土)第15回リーベルネットワーク会議を開催します



(左：リーベルネットワーク会議の様子。下：視察の方たちとの質疑応答もありました。)



## 生活支援分科会

現在、「成年後見制度」をシリーズ化して学習会を行っています。第7回は、実際の関わりの中で制度を活用されてきた事例を「市長申し立て」「経済的虐待」「親亡き後の問題」等分科会のメンバーよりお話をさせて頂きました。「制度導入のきっかけは?」「誰がどのように申請したか?」「費用は?」「活用された後の本人や周囲の反応は?」次から次へと質問が続きました。4月15日に行われた、八女医師会主催の在宅ケア研究会での「岩城弁護士による成年後見制度についての講話」にも参加したりと学習会を重ねるごとに「成年後見」について知識を積み重ねています。「この利用者さんは…」将来を思い浮かべ考えられる様に。学習継続中です。

## 就労支援分科会

就労支援分科会の第7回は、前回のリーベル通信でお伝えした宮城県栗原市視察の報告会でした。そして後日、この就労支援分科会の交流会を行い、分科会のメンバーと宮城県視察に一緒に行ってきた(株)立花の大家社長と、ご紹介頂いた企業の方々とも交流を深めることができました。今後は、こういった企業の方々にも就労支援分科会に参画して頂き、この分科会が障害者の方達の就労の機会の拡大にむけてより機能的に働くようになりたいものです。視察した宮城県も東日本大震災の被害を受け、栗原市にある事業所の安否確認がとれたのは数日後の事でした。お世話になった顔を思い浮かべ当分科会で社会福祉協議会を通し義援金を送りました。

## 教育分科会

第6回教育分科会を4月18日に行いました。今回は、当事者保護者の立場から「分かって欲しいな～僕、困ってるんです～」というテーマで子育てを通して感じたこと、療育や学校教育に対する思い、ネットワークによるサポートの必要性についてお話いただきました。子どもさんが描かれた絵画等、たくさんの資料を持参してください、お母様の愛情が伝わってきました。委員の方からの質問にも丁寧に答えていただき、有意義な時間となりました。また、今年度も夏休み期間中に、特別支援教育コーディネーターの先生方との意見交換会を計画したいと思えます。教育と福祉がつながる貴重な機会になると思えます。



# 市町村の福祉担当者紹介

新年度を迎え、福祉担当の方の異動もありましたので、改めて紹介します。

八女市役所  
本庁



八女市役所 福祉課 しょうがい者福祉係です。  
「明るく」「楽しく」「元気よく」で頑張っています。  
(前列左から) 平井課長・古賀部長・片山補佐  
(後列左から) 天塚・原野・江島・山口係長、中島です。

八女市役所  
黒木総合支所



黒木総合支所 保健福祉課です。  
困ったこと等ありましたら、何でもお気軽にお尋ねください。  
(左から) 緒方係長、仁田原課長、石崎

八女市役所  
上陽支所



上陽支所 市民生活福祉課市民生活福祉係です。  
お気軽に声をかけてください。宜しくお願ひします。  
(前列) 井上課長  
(後列左から) 平島、樋口、江藤係長、井上

八女市役所  
立花支所



立花支所 市民生活福祉課 保健福祉係です。  
お気軽にお尋ねください。  
(前列左から) 中村(しょうがい者福祉担当)、今村課長、  
(後列右から) 高口、岩佐主任、野村、下川係長

八女市役所  
星野支所



星野支所 市民生活福祉課 生活福祉係です。  
住民の皆様のご希望に沿うよう頑張っております。  
「お気軽にご相談ください」  
(前列中央) 江良 (後列左から) 原口主任、山口課長、江頭係長

八女市役所  
矢部支所



矢部支所 市民生活福祉課 生活福祉係です。  
障害者福祉関係の相談や申請受付など応じていますので  
よろしくお願ひします。  
(左から) 新原課長、栗原、木田係長

広川町役場



広川町役場健康福祉課母子・福祉係です。  
みなさんのご要望にひとつでも多く応えることができるように  
と心がけています。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(前列左より) 樋口、山下課長、中村(中列左より) 中島(真)、  
丸山、氷室、中島(久)、(後列左より) 馬場係長、野中

## ☆すてきな男衆の声☆ ～隣組長編：「実は、俺もたい・・・」～

新年度になり、地区では色々な役割が始まります。在宅者の中には「隣組長さん」もいます。

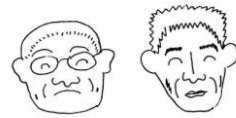
「やれるだろうか・・・」と言ってたら「俺もたい」なんと4人もいました。そんな隣組長さんの声を集めてみました。

Bさん：隣組6件、2年目。難しく考えていたけど、そうでもなかった。分らない時は世話人さんに聴いたり、時には怒られたり・・・(笑) 又、頼まれたらしてもいいかな。

Mさん：隣組7件、1年目(転入者がする様になってます)隣組長の次は管理人。困ったことはないよ。

Kさん：隣組6件、2回目、5年に1回まわって来る。頭が真っ白になる。やっと1ヶ月終わった。お金集めが一番心配。人の金はね～。

Gさん：隣組9件。初めての経験。グランドゴルフ、清掃活動、組費徴収などある。職場が近いので昼休みの時間帯を利用して広報配布をしている。手がいき届かないこともあるけれど、色々尋ねながらしていますよ。



## 平成23年度 出張相談日程

地域	日程	時間	会場
広川町	毎月第1火曜 (5月は5/10、 H24.1月は1/10)	13:00～14:00	広川町役場
黒木町	毎月第3火曜 (H24.3月は3/27)	10:00～11:00	八女市役所 黒木 総合支所
矢部村	7/8、11/11 H24.3/9	13:00～14:00	矢部村中央公民館
星野村	5/27、8/26 11/25、H24.2/14	13:00～14:00	総合保健福祉セン ター「そよかぜ」

## ★ 新職員紹介

はじめまして。4月よりリ  
神しょうがい担当の岩下総子と申  
します。約30年生まれ育った福岡  
市より八女にやって参りました。八  
女の自然と皆様との出会いを楽し  
んでいます。宜しくお願いします!



## 編集後記

東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。この震災で、多くの人の命が失われ、そして今でも、懸命な復旧活動が続いています。関係機関の方の中には、被災地支援に出向いておられると聞いた方もいます。人と人がつながり、大切な命を支援する活動です。右の写真の絵画は、リーベルのある清水町商店街の方が寄贈してくださいました。リーベル前に掲示している詩が気に入り、立ち寄ってくださったことがきっかけで、季節ごとの絵画を寄贈していただけるようになりました。これも人と人のつながりの始まりだと思います。きっかけは様々ですが、人と人がつながること、様々な人に支えられ、生活していることを感じます。こんな時代だからこそ、つながりを大切にしていきたいと思っています。

